

あなたもお読みください
 真実つたえ希望はこぼ
 しんぶん 赤旗
 日刊 1カ月 3,497円
 日曜版1カ月 823円

手良民報

生活相談はお気軽に
 電話 78-0943 (高橋)
 (毎月赤旗読者に配達)
 (民報のみは月100円)
 発行 日本共産党・手良支部

安心安全の源 消防団手良分団の定期総会

消防団手良分団の定期総会が5月12日の夜、市役所手良支所講堂で開催されました。分団長挨拶の後、幹部・新入団員紹介、感謝状贈呈がありました。

来賓祝辞では竹内春利区長会長より「消防団は地域にとって重要な安心安全の源である、自分自身の健康にも十分気を付けて、地域のためにご尽力を」などあいさつがありました。

その後は年間事業計画、予算の説明がありました。

事業計画では5月20日に



定期総会

てらの歌体操など協議 活性化企画委員会

手良地区活性化促進協議企画委員会が5月14日に開催されました。

てらの歌体操、狼煙上げ、市協働のまちづくり交付金事業の申請、活性化だより編集

などについて協議しました。てらの歌体操は地域で親しまれている「玉良の歌」を使ったご当地体操を制作し、地域住民の健康維持、介護予防を目的としています。狼煙上げは8月25日に行います。これらは6月13日の総会に上程されます。

生活相談・市への苦情

選挙後、市民アンケートを元に、いくつか市へ問い合わせをしました。

一つはひとり親家庭の支援事業の中の、高等職業訓練促進給付金等事業について、「2年間の就学を申し込むと3年目に学校に行こうとしても、対象にならない」との声を元に、選挙前に担当課に問い合わせをしていました。

これは県の事業でしたが、選挙後一今年度から、通算で3年間は支給が可能となりま

柳川ひろみ
 電話 76-5770



野口高齢者クラブ

野口高齢者クラブ(片桐辰雄会長・会員72名)は社会福祉協議会とともに5月5日に3世代の交流を目的にヨモギ摘みを行いました。昨年に続いて3回目。子どもたちと父母・祖父母など約60人が参加しました。子供たちは10数人で、午前8時に公民館に集合し、8時半から1時間半ぐらいヨモギを収穫し、洗って、たいて練って祖母や若い母たちが団子にしてあんこ餅を作りました。

学生4人が来ました 農家民泊

八ツ手竹之内の竹内春利さん宅では「農家民泊」を4月11日から13日までに、静岡大学付属中学校の学生4名が宿泊しました。

学生と一緒にヨモギをとってきて草餅をつくり、また五平餅を作ってみんなで食べました。食事のあとの片づけも一緒にしました。

「手良まどころマップ」で鳥の宮湧水、蟹澤公園、八幡神社も行ってきました。

農家体験では、雨が降った時にはだるまストローを焚いて、苗床へ種を播いたり、ジャガイモの植え付けなどを行いました。風呂は決りで、「みはらしの湯」へ行きまし

中へ饅頭を入れたものもありました。

米4升を蒸かしたコメを持ち寄り子どもたちがランニング均等に盛っておにぎりを作りました。

区長よりは「新芽よりは2番目が味がいい」などあいさつがありました。また、子どもたちからお礼の言葉がありました。

1時からみんなで作った料理で食事をしました。子どもたちはお菓子やジュース。大人は熱いお茶。講堂いっぱい賑やかに3世代交流が行われました。

中坪元気会

中坪元気会(高齢者クラブ・藤村和之会長)は5月27日、6人が参加して、お茶を飲みながら30年度の元気会の行事について話し合いました。

花壇つくりと管理、養命酒見学会、暑気払い座談会、足湯と買い物、中坪公民館神社周草取り、掃除、健康教室、忘年会

小学校の交通安全教室

手良交通安全協会による小学校の交通安全(自転車)教室は4月27日、手良小学校の校庭で行われました。

手良交通安全協会役員11名とPTA校外指導部員、美籍及び高遠駐在所の3名の警察官を講師に。

登内哲彦協会会長よりは「しっかりと勉強して安全運転につとめるように」などと話

PTAの資源回収

手良小学校PTAの資源回収は5月10日の午前中に校庭で行われました。

ビールビン、ビール以外



資源回収

新年会を計画しました。

その後、花壇に花を植えたり、除雪をして公民館周回の環境を整備しました。



当日出席した安協役員11名の生徒に自己紹介があり、警察官よりは「自分の命は自分で守る」と自転車の乗り方、自転車の移動、ブレーキを掛ける、安全確認など基礎的なことについて話されました。



交通安全教室

消防団手良分団の定期総会が過日行われた。竹内区長会長があいさつで述べられたように消防は「安心安全の源」である。私たちは日頃には空気のようにならざるに当てる前のように感じ意識していかないが、絶えず消防団に守られていることを改めて自覚しなければならぬ。また、いざことが起こった時にはあがりたくない命綱でもある。団員はみな仕事やそれぞれの生活があるのにそれらを犠牲にしてボランティアでの活動である。交通安全協会の役員のみならずも同様であるが頭の下がる思いである▼野口の高齢者クラブは相変わらず活発に活動している。中坪の高齢者クラブ「元気会」も野口を見習って頑張っている。高齢化社会には更にこのような組織を重視していかなければならない▼棚沢川で釣りをしている人が何人か居るようである。故郷の河で釣りをしていることを聞くだけでも心が癒される。下水道工事が進められて川がきれいになったことの証明でもあり嬉しいかぎりである▼短歌の歌会や俳句の募集が行われている。短歌・俳句は短詩系文学といわれ短いのでやる気になれば誰でも気軽に作る事が出来る。手良でも公民館などの援助もあって短歌や俳句を創る人が増えてくるようであるが意義のあることである。日常階段のことを生きてきた証としての記録としても残すことが出来る▼農家民泊が手良でも行われている。実践者は若い人達から元氣も貰えるし皆さんもうどうですかと推めている。あなたもいかがですか。(T)

手良の歴史・地名 ものがたりの講演会

5月19日に手良公民館で「手良の歴史・地名ものがたり」の講演会があり19名が出席しました。

講師は伊那市教育委員会生涯学習課の竹松亨也さん。

「手良の歴史・地名ものがたり」の冊子を作成され、パワーポイントを使ってそれを参考にご覧いただきました。

人々が住む8万年以前の手良地層は権兵衛峠の下までが埋まっていた時代。それは御嶽山の火山灰による地層の分析でわかることから、地層を分析すれば時代がわかると縄文時代、弥生時代各時代の手良の遺跡についても話されました。

また、「邪馬台国」は何所かならなくて話がありました。



生活雑記 親子の会話

167

小松利江

さあ、そろそろお家に帰ろうね、お母さんにながさされても、遊びに夢中になって高い木の上からまた降りたくなーい、い、もった遊ばない、そんな会話を聞かされた。そうかじゃあお母さんは先に帰るからねとも言いながら帰りの用意が出来たのかゆっくの歩きだした。

その時、子どもは大急ぎで逆さまになって木から転がるよつに地面降りてきた。ごめんさい、お母さんって、一緒に帰るよ、お母さん、お母さんは子どもの声を聞いて安心したらしく、2匹の子どもを先頭に歩いて歩き出した。石垣や壁に沿って一生懸命歩く、親猫は目をピンと立てて天敵の餌食にさせまいと必死に見守りながら歩いて行く。目の前に三叉路が近づいて来た。さあどうするか、とつちにゆくの、息を殺して隠れ隠れして後を追う人間の足音が聞こえたのか、親子の姿が一瞬の間に消えてしまった。

知っていたのか、草畑のジャングルの中に入ってしまったらしい。ジャングルの中は長い、向こうに出たら直ぐに作業小屋がある、先回するか、そのままじっと待つか、根比べが始まった。賢い親猫は、人間の気はかな行動を子供たちに話しているかもしれない、お前達、お母さんの話を良く聞くんだったら、早く側に来なさいよ、とぞとぞと草を揺るがさないようにね。人間がじっと見張っているから、今日は安全なこの場所でお母さんの側を離れないように



に、眠らないでよ。危険を感じた時、すく逃げられるようにお母さんの顔をしっかりと見ていてね、いいかい、動かないようにじっと我慢するんだよ。これから人間と我慢比べかなあ、足音が聞こえなくなったら一目散に逃げるからね。

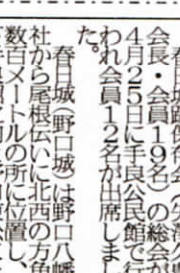
俳句 トマト 蒼野朋生(小3)
登校中そとに花が咲いている
おかあさんと二人でいっしょに春が来ます
つる切ってほっておかあさんまじも
暑い夏真っ赤なトマトおいしそう
ふくじゅそいつはいさいできれいな

(おねがい)
身近な出来事を、早く皆さんにお伝えしたいと思っております。何かありましたら左記まで連絡をお願いします。
七八〇九四三 高橋

三界山へ 手良里山に登る会



「手良里山に登る会」(山下兼幸会長・会員32名)は5月26日に会員24名(子ども2名)で三界山(みづがき山・1396m)へ登りました。登山口の駐車場まで車で7台に分乗して行きました。



この山は旧高遠町、長谷村、伊那市の三市町村の境に跨りしています。山頂から南・中央・北の日本アルプスを眺めることができます。イケマヤレンゲツツジの花が咲いていました。

手良遺族会総会

手良遺族会(酒井洋一会長・会員28名・協力会員17名)の総会が4月23日に行われ11名が出席しました。手良地区の戦没者は126柱、その遺族は900名。総会後は直会を行いました。「悪い家」が平成30年には取り壊しになり、更地になるので招魂碑は原町南の農協の倉庫の横の無縁仏のある場所に移転することになりました。その経過が会長より報告があり出席者より若干の意見がありました。



遺族会総会

春日城跡保存会総会

春日城跡保存会(天澤久豊会長・会員19名)の総会が4月25日に手良公民館で行われ会員12名が出席しました。春日城野口跡は野口八幡社から尾根伝いに北西の方向数百メートルの所に位置し、下手良堀之内と野口東松にまたがる、手良で唯一と思われ



保存会総会

東部歌会行われる

短歌の会「伊那東部歌会」(向山文昭会長 会員 美鷲)に、眠らないでよ。危険を感じた時、すく逃げられるようにお母さんの顔をしっかりと見ていてね、いいかい、動かないようにじっと我慢するんだよ。これから人間と我慢比べかなあ、足音が聞こえなくなったら一目散に逃げるからね。

禁煙友愛会総会

日本禁煙友愛会伊那支部の定期総会が5月1日にJA上伊那クラブホールであり手良から6名が参加しました。総会の出席者もこのようには大分少なくなっています。今年度の事業計画では禁煙教育、禁煙運動の推進として贈呈の保育園児に禁煙ハンカチ贈呈、小中学校児童生徒に鉛筆ノット贈呈、禁煙ボクスター贈呈、審査カレンター作成・配布、伊那市・南箕輪村へ社会福祉用品の寄付などです。手良の会員は現在約40名です。

俳句募集

井上井月を偲ぶ句会

手良公民館と「井上井月を偲ぶ句会」の共催による「清水まつり」に向けて手良公民館の俳句募集には子供たちのものも含めて29句が集まりました。羽場桂子さん(長野県シニア大学俳句指導者)による添削もあり、そのうちの趣意を花たよ母からの一句に癒さる花たより 春日の轟音となり夜半の雨 向山光子 春雷の轟音となり夜半の雨 山岸久男 燕来てリフォームしてはいる軒端かな 山岸久子

清水庵保存会総会

中坪米垣外にある清水庵の保存会(酒井忠廣会長・会員27名)の総会が5月1日に観音祭法要の後行われ27名が出席しました。境内には井上井月を偲ぶ句会の清水まつりに向けての俳句29句が掲げられました。保存会では田舎ある清水庵を末水く保存するために、かつての日に有志により結成されました。清水庵現在は無人寺となりました。境内には井上井月の俳句や、隠庵には井上井月の俳句や、隠

棚沢川で釣の

棚沢川で釣をする人は手良では2、3人のようですがそのうちの一人、八ツ手の登内辰男さん(66歳)にお聞きしました。天童川漁業組合の釣り券(遊魚券)を持っていて釣っている期間は5月16日から9月30日まで。棚沢川は河床が深いため、魚は上がつて来ません。あめは魚が放流されています。蟹の北山ラベスや沢山のタム近くまで行くこともあります。みずや、いくらを餌に獲れ釣りをします。30センチのものが5、6本釣れる時がありますが知人に配ったり酒の肴にしています。

中坪公民館で絵手紙教室やっています

連絡先 酒井 7811099



酒井要子